

明石市ウォーターPPP 導入検討に係る 第1回サウンディング調査（指名アンケート方式）結果

1 調査概要

（1）実施スケジュール

本サウンディング調査（以下「本調査」という。）は、直近3か年及び今年度に、本市下水道事業における主要業務の受注実績のある民間事業者にご協力をお願いし、アンケート方式により、以下に示すスケジュールで実施しました。

内容	日程
調査票等の配布	令和7年12月8日(月)
調査に関する説明会	令和7年12月17日(水)～19日(金)
調査票の回収期限	令和8年1月9日(金)

（2）調査票の配布及び回収方法

①調査票の配布

本調査の対象事業者には、事業概要説明書及びアンケート調査票を電子メールで配布しました。

②調査票の回収

本調査の回答は、回答フォームまたは電子メールで受け付けました。

（3）設問

本調査では、以下の設問についてお尋ねしました。なお、回答者が特定されることを避けるため、回答内容の公表については黄色に着色した設問に限定し、個別意見等の公表は差し控えさせていただきます。

設問	設問番号
1 公共下水道事業における実績について	問 1-1 問 1-2 問 1-3
2 ウォーターPPP 事業への参画意欲について	問 2-1 問 2-2
3 対応可能な業務範囲について	問 3-1
4 事業の対象範囲について	問 4-1 問 4-2 問 4-3 問 4-4
5 レベル 3.5 の形式（更新支援型、更新実施型）について	問 5-1 問 5-2 問 5-3 問 5-4
6 ウォーターPPP（レベル 3.5）の4要件について	問 6-1 問 6-2 問 6-3 問 6-4
7 市内業者の参画について	問 7-1
8 公募スケジュールについて	問 8-1 問 8-2
9 公募時の必要資料について	問 9-1
10 今後の調査への協力可否について	問 10-1
11 その他	問 11-1

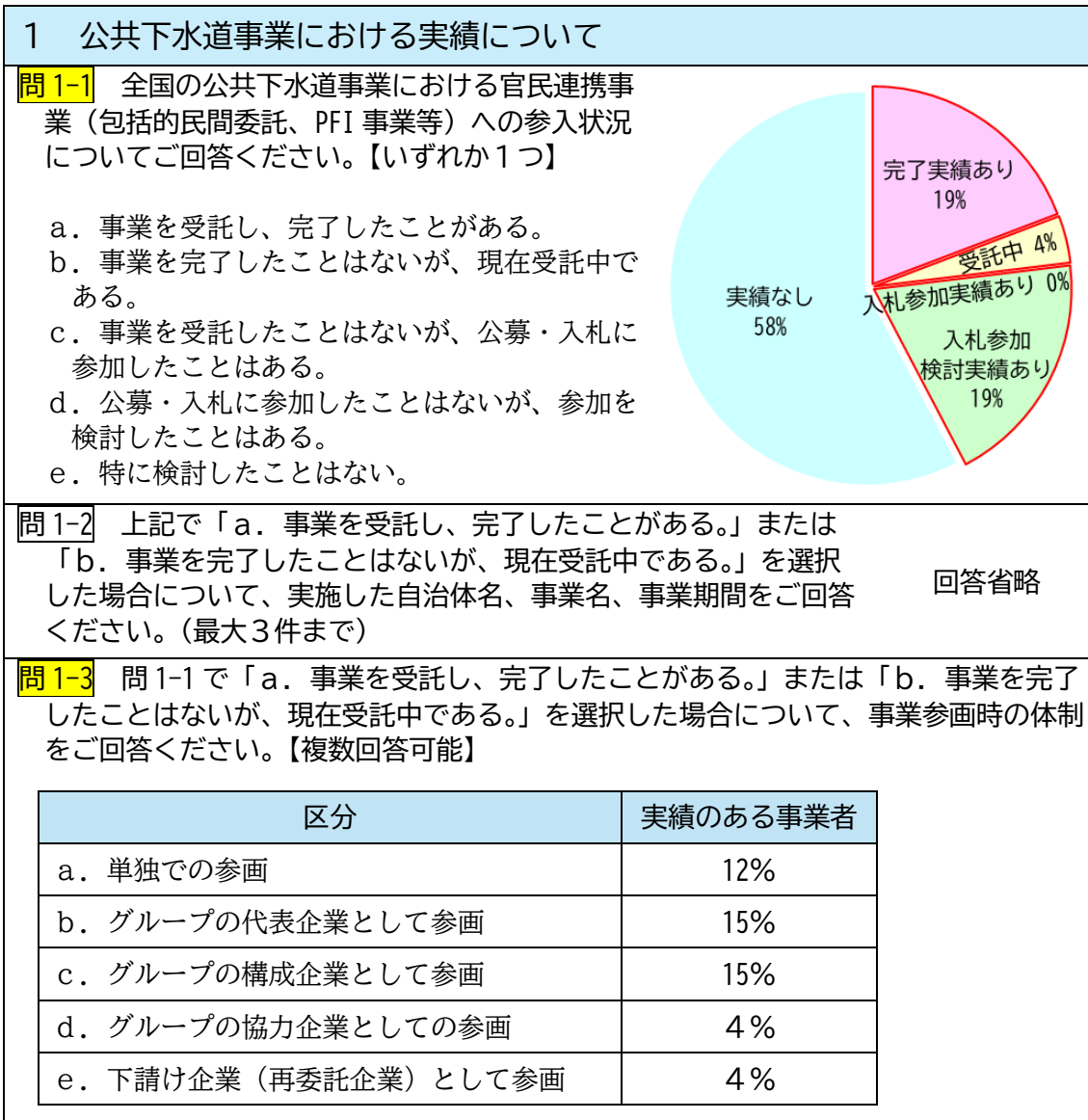
2 アンケート調査結果（概要）

（1）回答数

本調査は、処理場・ポンプ場の運転・維持管理業者や修繕・工事業者、管路施設の点検・調査業者や修繕・工事業者、浚渫・清掃業者、コンサルタントといった幅広い分野の民間事業者 38 社にご協力をお願いし、うち 26 社から回答をいただきました。

（2）設問ごとの集計結果

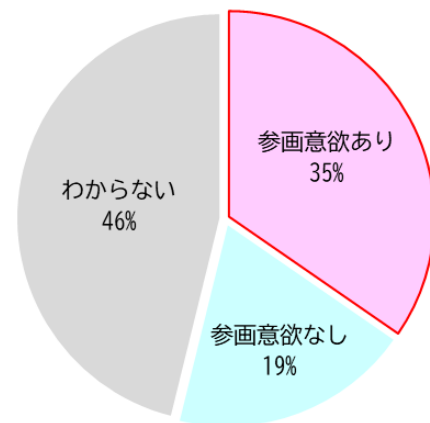
各社からの回答について、設問ごとの構成比率を以下に示します。



2 ウォーターPPP 事業への参画意欲について

問 2-1 本市では、公共下水道事業4処理区のうち、朝霧処理区及び船上処理区を対象にしてウォーターPPP（レベル3.5）を導入することを検討しています。ウォーターPPPを導入した場合、ウォーターPPP 事業への貴社の参画意欲についてご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 参画意欲がある。
- b. 参画意欲はない。
- c. わからない。



問 2-2 上記で「b. 参画意欲はない」または「c. わからない」を選択した場合、その理由についてご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

3 対応可能な業務範囲について

問 3-1 ウォーターPPP 事業において、貴社が対応可能な業務についてご回答ください。
【複数選択可能】

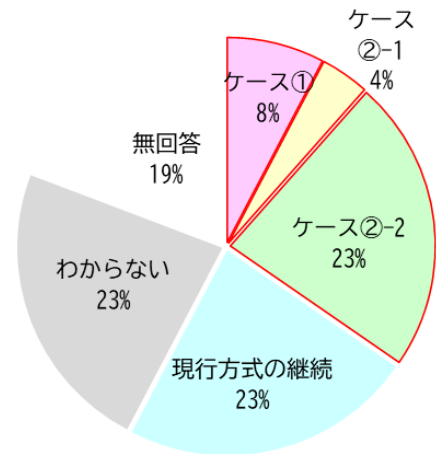
区分	業務	対応可能な事業者
処理場・ ポンプ場施設 ※マンホールポンプ 含む	統括管理	15%
	維持管理（運転管理/水処理）	15%
	維持管理（運転管理/汚泥処理：下記以外）	15%
	維持管理（運転管理/汚泥処理：焼却）	15%
	維持管理（運転管理/ポンプ場）	15%
	維持管理（保守管理/水処理）	15%
	維持管理（保守管理/汚泥処理：下記以外）	15%
	維持管理（保守管理/汚泥処理：焼却）	15%
	維持管理（保守管理/ポンプ場）	19%
	維持管理（浚渫）	15%
	維持管理（廃棄物収集運搬）	15%
	維持管理（修繕・保全工事）	38%
	改築更新（設計）	12%
	改築更新（土木・建築・建築設備工事）	12%
	改築更新（機械工事）	27%
	改築更新（電気工事）	23%
	ストックマネジメント計画策定支援	12%
管路施設	統括管理	4%
	維持管理（点検・調査）	31%
	維持管理（浚渫）	23%
	維持管理（修繕・開削）	19%
	維持管理（修繕・非開削）	19%
	改築更新（設計）	4%
	改築更新（工事・開削）	12%
	改築更新（工事・非開削）	12%
	ストックマネジメント計画策定支援	4%
	苦情一次対応	4%
その他	【自由記載欄】	回答省略

4 事業の対象範囲について

問 4-1 本市がウォーターPPPを導入する場合、望ましいと考えるケースについてご回答ください。
【いずれか1つ】

- a. 【ケース①】が望ましい。
- b. 【ケース②-1】が望ましい。
- c. 【ケース②-2】が望ましい。
- d. 現行の維持管理方式の継続が望ましい。
- e. わからない。

※各ケースの詳細については次頁を参照

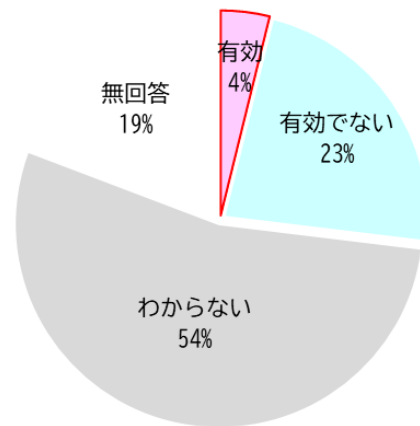


問 4-2 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。
【自由記載欄】

回答省略

問 4-3 処理場・ポンプ場施設（マンホールポンプ含む）の維持管理と管路施設の維持管理を一体的な事業とすることは、本市にとって有効と考えられるかご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 有効である。
- b. 有効ではない。
- c. わからない。

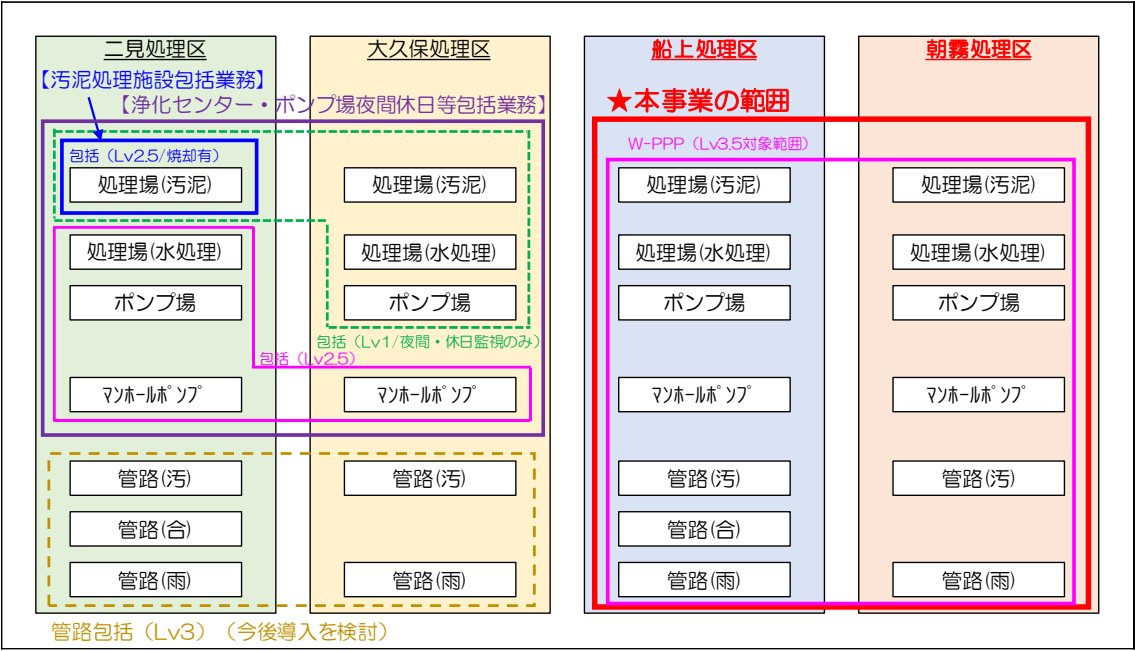


問 4-4 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。
【自由記載欄】

回答省略

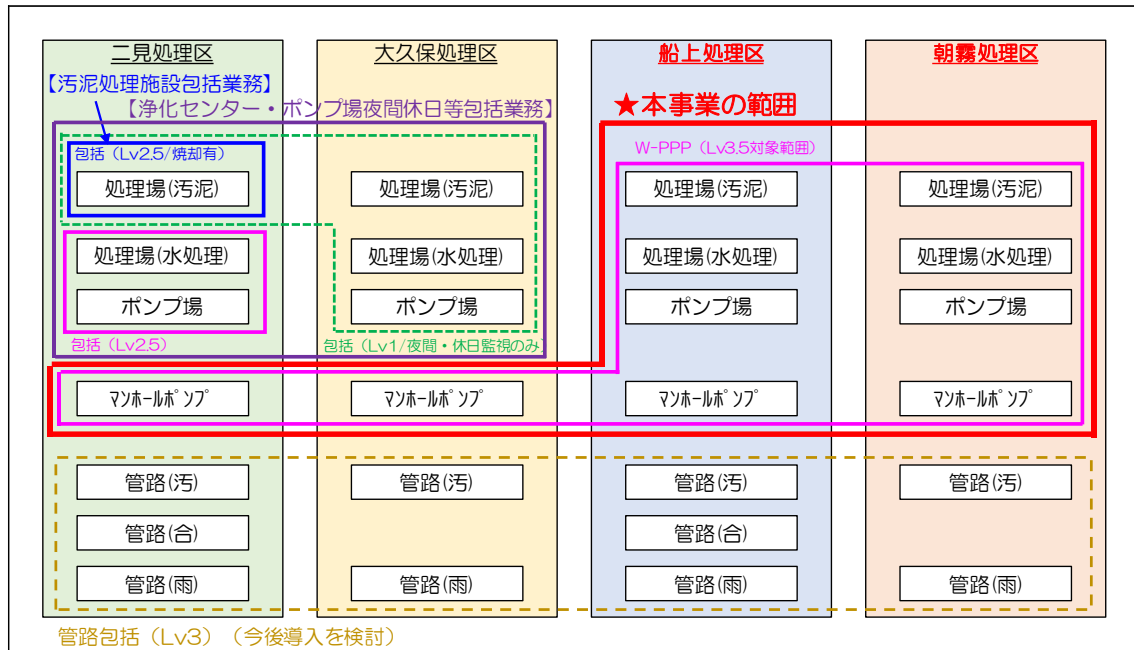
※問 4-1 において設定した各ケースの概要（対象施設及び対象業務）

【ケース①】



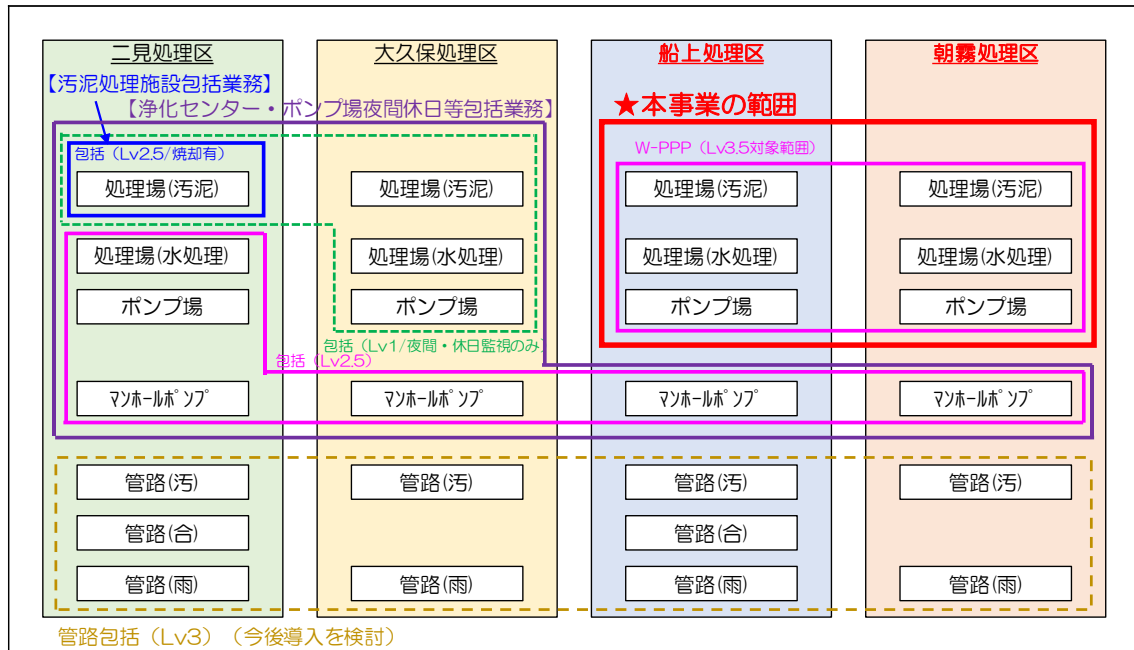
業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理 修繕 保全工事 更新計画案作成
	マンホールポンプ	朝霧 船上	全施設	
	管路	朝霧 船上	全施設	

【ケース②-1】



業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理
	マンホールポンプ	朝霧 船上 大久保 二見	全施設	修繕 保全工事 更新計画案作成

【ケース②-2】

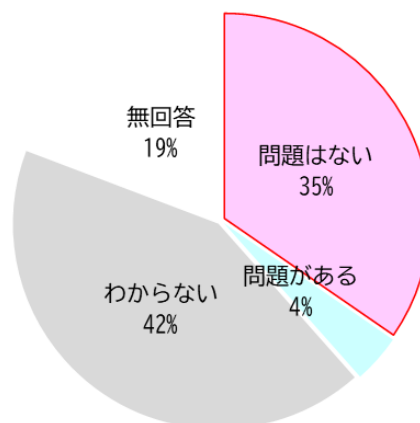


業務の形態	区分	処理区	対象施設	対象業務
W-PPP Lv3.5	共通	事業全体		統括管理 セルフモニタリング
	処理場 (水処理・汚泥処理) ポンプ場	朝霧 船上	朝霧浄化センター 船上浄化センター 朝霧ポンプ場 林ポンプ場	運転管理 保守管理 浚渫・清掃 ユーティリティ調達・管理 修繕 保全工事 更新計画案作成

5 レベル 3.5 の形式（更新支援型、更新実施型）について

問 5-1 本市では、処理場及びポンプ場施設（マンホールポンプ含む）の維持管理にウォーターPPP（レベル 3.5）を導入する場合、更新支援型（CM 方式は含まない）での実施を考えています。このことについてご回答ください。【いずれか 1 つ】

- a. 特に問題はない。
- b. 問題がある。
- c. わからない。



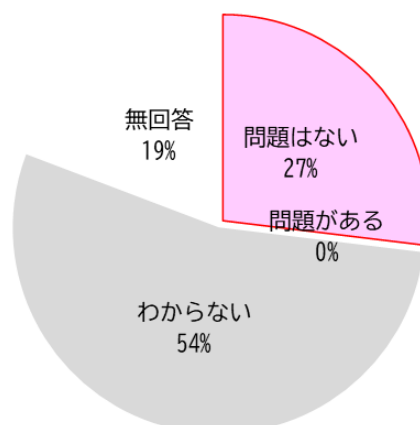
問 5-2 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。

【自由記載欄】

回答省略

問 5-3 本市では、管路施設の維持管理にウォーターPPP（レベル 3.5）を導入する場合、更新支援型（CM 方式は含まない）での実施を考えています。このことについてご回答ください。【いずれか 1 つ】

- a. 特に問題はない。
- b. 問題がある。
- c. わからない。



問 5-4 上記回答理由や補足説明についてご回答ください。

【自由記載欄】

回答省略

6 ウォーターPPP（レベル 3.5）の4要件について

ウォーターPPP（レベル 3.5）の4要件について、参加意欲向上のための意見等があればご回答ください。

問 6-1 長期契約（原則 10 年）について

【自由記載欄】

回答省略

問 6-2 性能発注について

【自由記載欄】

回答省略

問 6-3 維持管理と更新の一体マネジメントについて

【自由記載欄】

回答省略

問 6-4 プロフィットシェアについて

【自由記載欄】

回答省略

7 市内業者の参画について

問 7-1 市内業者が参入しやすい実施体制や公募上の要件（市内業者を構成企業に含めた SPC の設立を公募要件とする等）についてご意見や留意すべき事項についてご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

8 公募スケジュールについて

【現時点の想定スケジュール】

令和8年度：公募に向けた準備（書類・資料準備、官民対話等）

令和8年度末：公募開始

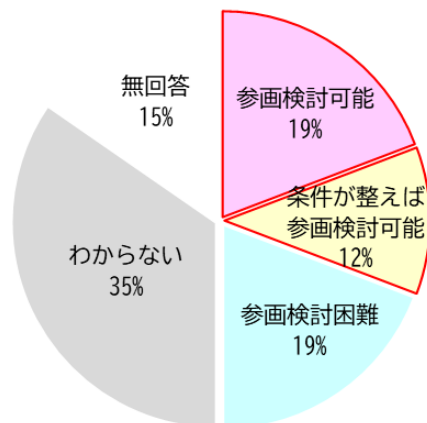
令和9年度：事業者選定、契約締結

令和10年度：事業開始

※今後の検討状況により変更となる可能性があります。

問8-1 想定する公募スケジュールにつきまして、事業者として参画検討する場合のお考えをご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 参画検討可能
- b. 条件が整えば参画検討可能
- c. 参画検討は難しい
- d. わからない



問8-2 上記回答理由や補足説明をご自由にご回答ください。また、「b. 条件が整えば参画検討可能」と回答された方は、こういった条件であれば参画検討可能であるかご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

9 公募時の必要資料について

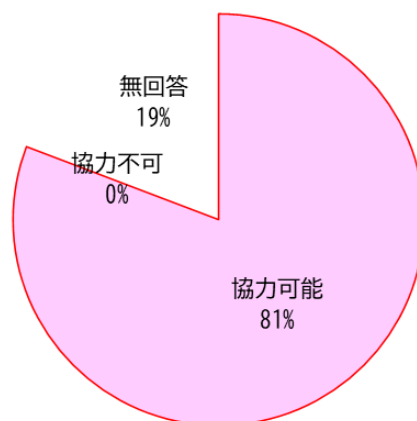
問9-1 ウォーターPPPで本事業を実施する場合、貴社が本事業への参画検討において必要な資料や情報についてご回答ください。【自由記載欄】

回答省略

10 今後の調査への協力可否について

問10-1 本サウンディング終了後、ご協力いただける企業に対して必要に応じて追加の対話（文書による照会を含む）やアンケート等を実施させていただくことがあります。ご協力いただけるか否かご回答ください。【いずれか1つ】

- a. 協力は可能である。
- b. 協力は難しい。



11 その他

問11-1 その他、ご意見や懸念点等がございましたら、ご回答ください。【自由記載欄】

回答省略